



市民とともに、 彩り豊かな「文化」を育む

音楽や美術といった芸術は、人に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送るうえでの活力となります。

市では、さまざまなコンサートやイベント、美術展などを開催し、市民の皆さんが、気軽に芸術に触れ、また参加することができる環境作りを行っています。

令和4年2月には、市と市文化協会が共同で「かかみがはら未来文化財団」を設立し、「文化を活かしたまちづくり」を推進しています。



(注) 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、中止となった事業もあります

文化芸術への参加機会の創出

市では、市民会館や文化ホールなどの文化施設をはじめ、各種公共施設、地歌舞伎舞台など、さまざまな施設でコンサートを開催しています。乳幼児から楽しめるコンサートなど、誰もが音楽に親しめる環境を整えてきました。

また、芸術の面では、公募展である「市美術展」や「高校生・少年美術展」、市民に伝えたいアートを紹介する企画展などを開催し、市民が文化芸術に参加する機会を作っています。



歴史が連綿と息づくまち



木曾川に面し、古来から主要な街道が通る各務原では、今日まで途切れることなく歴史がつづられてきました。

こうした市の歴史を、貴重な歴史資料とともに学べる施設として、中央図書館3階の「歴史ギャラリー」や、川島会館4階の「木曾川文化史料館」があります。

また、縄文時代の集落遺跡「炉畑遺跡」や、旧中山道の宿場町「鵜沼宿」など、当時の雰囲気を感じられる施設で、歴史に触れることができます。

スポーツが生み出す、人とまちの活力



健康的で活力に満ちたまちづくりのため、市民の方が気軽にスポーツに親しめるよう、さまざまな事業を展開しています。

各種スポーツを気軽に体験できる「スポーツげんき祭」や、各務原市内とその周辺を巡る「かかみがはら DE ウォーキング」、子どもから高齢者まで軽スポーツを楽しめる「軽スポーツ交流会」など、さまざまなイベントを開催し、参加の機会を創り出しています。

また、毎年3月上旬に開催している「かかみがはらシティマラソン」では、毎年、3000人を超えるランナーが参加。「各務原大橋」など、木曽川周辺の美しい風景を楽しみながら走ることができます。

「ホッケー王国」各務原

各務原市ではホッケー競技が盛んで、小学生から社会人まで、全国大会で優れた成績を収めています。また、オリンピック選手も多く輩出するなど、広く「ホッケー王国」として認知されています。

下切町にある「川崎重工ホッケースタジアム」は、国の「ナショナルトレーニングセンター」に指定されており、ホッケー日本代表チームの拠点となっています。これまで、北京・ロンドンオリンピックの世界最終予選が開催されるなど、数々の国際大会や全国大会の舞台となりました。



スポーツ施設が充実！

市では、全天候型の陸上競技場など全6種類の競技場に加え、芝生広場やキャンプ場を備えた「総合運動公園」や「プリニーの野球場」、「プリニーの総合体育館」、5つの「地区体育館」、「弓道場」など、市民の皆さんの幅広いニーズに対応できるようスポーツ施設を充実させています。

また、令和2年度にリニューアルが完了した「川島スポーツ公園」は、従来からある野球場、テニスコート等の施設に加え、芝生広場の拡張や、せせらぎ水路も整備するなど、地域住民の憩いの場として生まれ変わりました。